

第15回 東京大学教養学部 室内演奏会

2013年9月25日(水)
18時30分(開場18時)

Wednesday, 25 September 2013,
6:30 pm (Doors open at 6 pm)

東京大学教養学部
駒場コミュニケーションプラザ
北館2階 音楽実習室

College of Arts and Sciences, The University of Tokyo,
Music Practice Room, Komaba Communication Plaza

ヴァイオリン：セルゲイ・マーロフ
Violin: Sergey Malov Сергей Олегович Малов

ピアノ：岩崎 洵奈
Piano: Junna Iwasaki



Program

W・A・モーツァルト Wolfgang Amadeus Mozart (1756- 1791)

ヴァイオリン・ソナタト長調 KV 301 (293a)
Sonate für Klavier und Violine in G-Dur, KV 301 (293a)

ロンド ハ長調 KV 373
Rondo für Violine und Orchester in C-Dur, KV 373

ヴァイオリン・ソナタ 第24番 ヘ長調 KV 376 (374d)
Sonate für Klavier und Violine in G-Dur, KV 376 (374d)

「ああ、私は恋人を失くした」による変奏曲
ト短調 KV 360 (374b)
Sechs Variationen über ein Andantino in g-Moll, Hélas,
j'ai perdu mon amant, KV 360 (374b)

ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 KV 378 (317d)
Sonate für Klavier und Violine in B-Dur, KV 378 (317d)

- 東京大学の学生・教職員および駒場友の会会員・会友限定（同伴不可）
- 入場無料 定員120名 全席自由 予約不要
- 演奏会当日は、学生証・教職員証または会員証・会友証をご携帯ください。

This concert is exclusive to students and staff of the University of Tokyo and members of the Friends of Komaba. Admission free. 120 seats available. Reservation not required. Please bring your ID with you to the concert.

主催：東京大学教養学部ピアノ委員会
共催：駒場友の会

Organized by the Piano Committee, College of Arts and Sciences, The University of Tokyo, and in collaboration with the Friends of Komaba.

演奏者プロフィール



セルゲイ・マーロフ (ヴァイオリン)

Sergey Malov

ザルツブルクのモーツァルテウム音楽院にてヴァイオリンを、ベルリンのハンズ・アイスラー音楽大学にてヴァイオリンを学ぶ。ふたつの楽器で多くのコンクールで優勝を果たした：ハイフェッツ国際コンクール（2009）、ミュンヘン国際コンクール（2009、ヴァイオリン）、東京国際ヴァイオリンコンクール（2010）、モーツァルト国際コンクール、マイケル・ヒル国際ヴァイオリンコンクール（共に2011）。研鑽を積む中で、復元楽器「ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラ」と出会い、9月発表予定のデビュー CDでは、ヴァイオリンとスパッラによる無伴奏作品を録音している。

ヴァイオリン、ヴァイオリンのソリストとして、東京シティ・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、バイエルン放送交響楽団、カメラータ・ザルツブルク、モーツァルテウム管弦楽団などのオーケストラと共演している。

2013年10月にはベルリン古楽アカデミーとの共演でヴァイオリンとヴィオロンチェロ・ダ・スパッラそれぞれの協奏曲を演奏、ベルリン・フィルハーモニーに初出演する予定である。

使用楽器：ヴァイオリン Peter Greiner (2004)。ヴァイオリン Pietro Gaggini (1958) [Carlo van Neste 財団より貸与]。ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラ Dmitry Badiarov (2011) による特製。いずれも、Thomastik-Infeld Vienna 製の最新の弦を使用。



岩崎洵奈 いわさき じゅんな (ピアノ)

Junna Iwasaki

愛知県岡崎市出身。東京芸術大学器楽科ピアノ専攻卒業。2008年第4回ウィーン国立音楽大学ヨーゼフ・ディヒラーコンクール第2位。2010年ヴァル・ティドローネ国際音楽コンクール（イタリア）第5位、シュリッツピアノアカデミー国際コンクール（ドイツ）第3位、ライプツィヒ・シューマンハウス賞、ヘッセンムジークアカデミー賞受賞、2010年第16回ショパン国際ピアノコンクール（ワ

ルシャワ）においてディプロマ受賞。2010年トレドネス国際音楽フォーラム（マドリッド）にて、スカラシップ賞を受賞。2011年同国際音楽フェスティバルにて、フェスティバル・オーケストラとショパン「ピアノ協奏曲1番」を演奏。同年、ウラディミール・アシュケナーズ氏のトークコンサートに出演、また、仙台フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団のメンバーと室内楽で共演。平成21年度文化庁新進芸術家海外研修生。2012年度CHANEL Pygmalion Daysアーティスト。2013年2月、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」に出演。ピアノを藤井博子、笠間春子、青柳晋、田部京子、チョ・モンカン、フェルナンド・プチョール、海老彰子、アキレス・デレ＝ヴィーニエ、ヤン・イラチェックの各氏に師事。室内楽、伴奏法をマインハルト・プリンツ氏に師事。現在、ウィーン国立音楽大学ピアノ科在籍。

駒場キャンパスの音楽活動について

1977年に、森泰吉郎氏（森ビル株式会社初代社長）のご寄贈によって緑に囲まれた900番教室（講堂）にパイプオルガンが設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

また、2006年秋には、スタインウェイのフルコンサート・グランドピアノが駒場コミュニケーションプラザ北館2階の音楽実習室に設置されました。音楽実習室では2007年よりオーディションによって選ばれた学生による学生選抜コンサートが開催されるなど、駒場キャンパスの音楽活動の軸となっています。

こうした多彩な駒場の音楽活動は「駒場音楽振興基金」（駒場友の会）からの補助によって支えられています。皆様からのご寄付をお寄せくださいますようお願いいたします。

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学教養学部

オルガン委員会
<http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/>

ピアノ委員会
<http://piano.c.u-tokyo.ac.jp/>

Tel. 03-5454-6139（駒場博物館）

Tel. 03-3467-3536（駒場友の会）



駒場コミュニケーションプラザ 北館への案内図

